

2023年1月19日

BP キャピタル株式会社

TUAT 1号ファンドの設立について

BP キャピタル株式会社（東京都中央区、代表取締役 松多洋一郎）は、東京農工大学および他の国立大学等の研究活動から生まれる技術に関する研究成果を活用して新たな価値を創造するスタートアップ企業を支援の対象とし、そうした成果を社会に実装・還元する活動を支援することを目的として「TUAT 1号投資事業有限責任組合」（以下「本ファンド」）を設立しましたのでお知らせします。

本ファンドは国の規制緩和により、2022年4月から国立大学が民間ファンドへの直接出資が可能になったことを受け、2023年1月18日、経済産業大臣及び文部科学大臣から認定を受けて組成するもので、今回の規制緩和に伴い実施される国内初の事例になります。

東京農工大学は、2022年4月に設置したディープテック産業開発機構を中核として、起業家育成・起業支援、シーズ発掘・育成等に一元的に取り組んでおり、研究成果の社会実装を加速化しています。「食料自給率の向上」や「脱炭素社会の構築」等のグローバルな課題解決に貢献するため、東京農工大学と連携してスタートアップ支援を強力に推し進めます。

○TUAT 1号ファンドの概要

名称	TUAT 1号投資事業有限責任組合（略称：TUAT ファンド）
設立	2023年1月19日
ファンド総額	10億円（予定）
出資者	無限責任組合員：BP キャピタル株式会社 有限責任組合員：アステナホールディングス株式会社 国立大学法人東京農工大学 ※東京農工大学からの出資に当たっては、文部科学省の認可が必要
存続期間	10年（但し、合意により2年間の延長可能）
投資対象	東京農工大学および他の国立大学の研究成果をベースとした事業であれば原則業種は問わないが、特に農学分野（畜産分野、スマート農業、食料生産、他）を主たる対象とする

<本件に関するお問い合わせ>

BP キャピタル株式会社 担当：浜田
電話：03-6665-0797 メール：s-hamada@bpcapital.co.jp